

キンダーブック2 9月号



表紙の
絵から

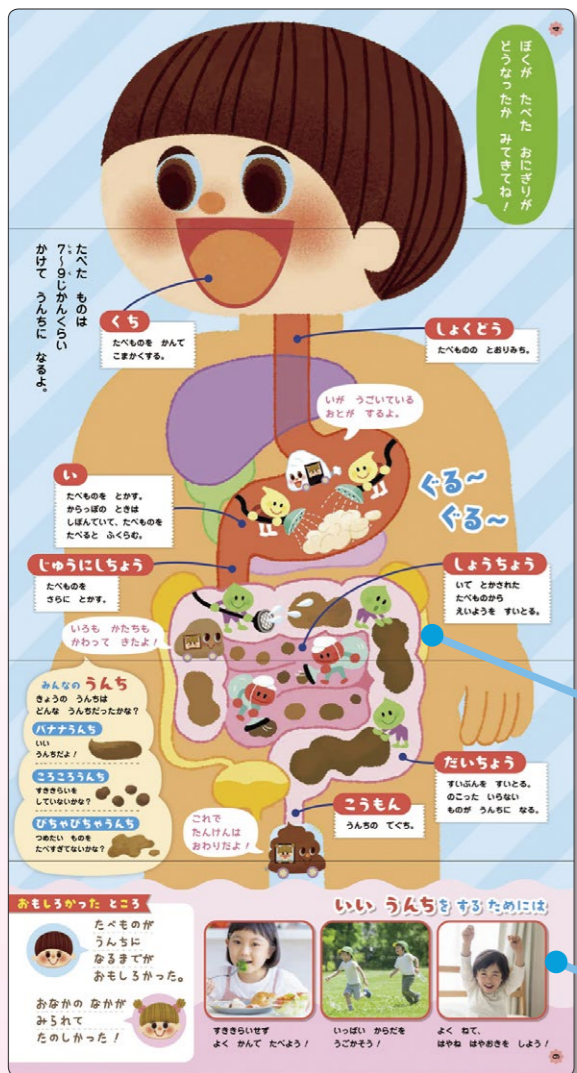
ビーバーの赤ちゃんを寝かしつけているお母さん。こおろぎさんたちがすてきな歌声でお手伝いをしています。こおろぎさんたちの子守唄を聞きながら気持ちよく眠れそうですね。「どんな声がするのかな？」と鳴き声をまねしてみても楽しいですね。



からだの ひみつ

ねらい 食べた物がからだの中でどうなるのかを知りましょう。

子どもたちに食べた物がどうなるか問いかけてみましょう。食べ物がかからだのどこを通過してどうなっていくのか想像をふくらませながら、からだを指でたどってみてください。



食べ物がどの器官を通過して、どう変化するのかを知りましょう。お腹が空いたときやごはんを食べた後に胃や腸が動く音がすることに気づくと、意識しやすいかもしれません。

食べ物や食べ方によってうんちの形や色が違ってくことを伝え、健康のパロメーターになることを知りましょう。また、毎日自分のうんちを見ることで、健康状態や生活習慣にも興味をもつきっかけになるとよいですね。



みんなで おうえんしよう!

ねらい 友だちの思いに気づき、はげまし合えるようにしましょう。

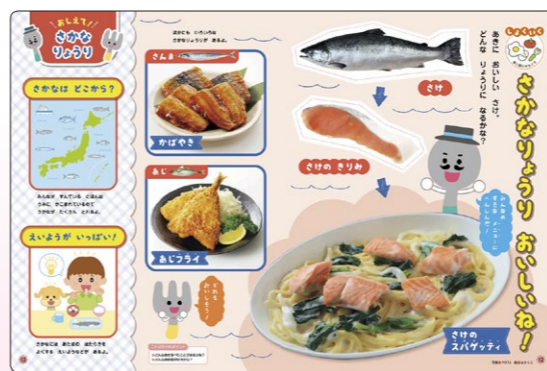
つかい方のポイント 友だちの苦手なこと、得意なこともわかってくるころですね。得意なことで友だちを助けてあげたいというひまぐんの子守唄に注目しましょう。のこちゃんの話聞いて、気持ちに寄りそっている姿にも気づけるとよいですね。



さかなりょうり おいしいね!

ねらい いろいろな魚料理を知り興味を広げましょう。

つかい方のポイント 子どもたちにどんな魚を食べたことがあるか、聞いてみましょう。日本は海に囲まれている国なのでたくさんの種類の魚がいることを知らせてもよいですね。魚のことを図鑑で調べてみると興味関心が広がるきっかけになりそうです。



「キンダーブック2」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
<p>「からだのひみつ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のからだのしくみを知る。 うんちが健康のパロメーターになることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の通り道をからだの上から指でたどって、からだの中を意識させる。 うんちの話をするとき、子どもたちがおもしろいだけで終わらないよう、そのたいせつさをきちんと伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 環境 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力の芽生え 健康な心と体
<p>「みんなで おうえんしよう!」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの気持ちに気づく。 自分の思いを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で相手の気持ちに気づけるような配慮をする。 相手に自分の気持ちを伝えられたときに、認め、ほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 人間関係 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 協同性